

ページ	質問議員	質問事項
9	毛塚眞一	<ul style="list-style-type: none"> <li>●火災防止について</li> <li>●道路等の維持管理について</li> <li>●介護福祉について</li> </ul>
10	青木久男	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校教育について</li> </ul>
10	奥田とみ子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康増進事業の推進強化</li> <li>●通学路の安全対策について</li> <li>●住民サービスの向上について</li> </ul>
11	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康政策(公衆衛生)を充実させ医療費の削減を</li> <li>●介護保険について</li> <li>●国民健康保険について</li> <li>●交通安全対策について</li> </ul>
11	上野克也	<ul style="list-style-type: none"> <li>●循環バス及び新たな公共交通サービスについて</li> <li>●ニューシャトルの駅へのエレベーターの設置状況について</li> <li>●六道駐在所について</li> <li>●リース方式によるLED照明の導入について</li> <li>●公共施設の暑さ対策として「ミストシャワー設置」について</li> <li>●防災・防犯関連の情報発信について</li> </ul>
12	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第5次伊奈町行政改革実施改革プランから</li> <li>●伊奈町成長戦略を描くこと</li> <li>●子ども・子育て関連3法の問題点と町への影響</li> <li>●学校選択制の弊害と通学区域の弾力的運用</li> </ul>
12	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊奈を育む5つの政策 産業振興について</li> <li>●伊奈を育む5つの政策 土地利用生活基盤について</li> </ul>
13	佐藤弘一	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者また障害者の交通手段について</li> <li>●指名入札関係について</li> </ul>
13	村山正弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通学路の安全対策</li> <li>●クールシェアの取り組み</li> </ul>



## 一般質問に9人が登壇

12月定例議会では9人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(2月下旬掲載)

▶伊奈町議会ホームページ

<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>



伊奈学園西側第一調整池法面(斜面)

## サービス付き高齢者向け住宅の状況は



毛塚眞一 議員

### 介護福祉について

**問** 高齢者の居住の安定を目的として、高齢者を支援するサービスを提供する、「サービス付き高齢者向け住宅」の施設状況

況は。

**答** サービス付き高齢者向け住宅は、現在、町内に1ヶ所、26室である。

### 道路等の維持管理

**問** 形状保持型吊上げ式

直方体バツゲの利用は。

**答** 軟弱地盤対策として研究開発された製品である。特徴は、水田、沼地等の軟弱地盤に道路を築造する際の路盤材として使用する新しい工法である。実証データや知見を踏まえて、研究していく。

**問** 防草シートの利用は。

**答** 防草シートは、日光を遮断し、雑草の繁茂を抑制する効果があり、試験的に、伊奈学園西側、第一調整池法面(斜面)の一部にシートを敷設して、状況について経過観察を行っている。

### 火災防止について

**問** スプレー缶の収集について。

**答** 火災等の危険性を少しでも減らせるよう、ガスの抜き方を含め、ゴミとしての出し方について、広報等を通じて周知していきたい。

町北部での児童生徒増に  
どう対処していくのか



あおきひさお  
青木久男 議員

問 適正規模の小学校は12学級から18学級といわれている。一学年2、3学級だ。中学校もこの考えが準用される。

町北部地区の小学校と

近々中学校での学級数増が激しい。小針北小学校では一昨年の新一年生は7クラスで、既に大規模校化している。この児童が数年後に小針中学校

に進むが、同中学校は30学級程度のマンモス校となるのは目に見えている。

大規模校では一人ひとりに目の届くきめ細かな教育が希薄化するといわれている。更に学校行事でも種々の制約が出てきて弊害が多い。適正な学校規模の観点からもこれから小中学校の適切な対応が求められるが、当局の見解はどうか。

答 小針北小学校では平成28年、小針中学校では平成32年ごろがピークと見ている。その後は減少化が予想されるので、学校建設や学区の再編などはせず、あくまでも増築等に対応していく考えだが、今後も国・県の動向と学校の現状を注視しながら良好な教育環境の提供に努めていく。



大規模化する小針中学校

健康増進事業の推進強化

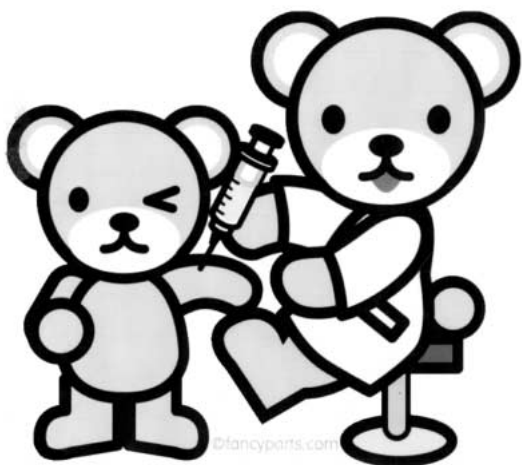


おくだ  
奥田とみ子 議員

任意予防接種の進捗状況

問 小児用肺炎球菌・ヒブ・子宮頸がんワクチンの公費助成事業、平成25年度以降の継続は。

答 額公費負担となる見込みである。  
がん検診・受診率の向上  
問 受診率4%の胃がん検診に、WHOで「胃がんの発がん因子」として



認定された、ピロリ菌検査を導入すべきでは。

答 公費負担での検査は、現段階では難しい。

問 教育現場に「がん教育」を取り入れる考えは。

答 各学校の保健領域の学習の中で、正しい知識を教えていく。「がん教育」の充実に向け研究していく。

問 検診時間、曜日の見直し、周知方法の検討を。

答 絶えず研究していく  
住民サービスの向上

問 コンビニにおける、証明書等の交付サービスの導入は。

答 町民の利便性を考慮し、さまざまな問題を引き続き検討していく。

その他の質問

- ・通学路の安全対策
- ・うつ病・不安障害対策

医療・介護費の削減は健康政策の充実で！



みずかみ けんじ  
水上邦雄 議員

問 健康・安心・予防を

両立させ負担軽減を。

答 健康増進計画策定を  
予定している。

地域保健の需要が高く

マンパワーによる部分が  
大きい。保健センターの  
拡充は町の事業全体の中

で対応する。

介護保険について

問 生活援助について従  
前のサービスが受けられ  
ることの徹底を。

答 区分変更は、サービ

スの利用を制限したもの  
ではない。ケアマネージ

ヤー会議で指導している。

問 制度減免を県内で実  
施している自治体は。

答 63自治体の内、減額

は27自治体、免除2自治  
体。

町での実施を求めまし

た。

国民健康保険について

問 生活・経済状態を配  
慮した国保税の減免を。

答 個々の生活実態に即

した対応を考えている。

問 短期保険者証の窓口  
交付は受診抑制や重症化  
が懸念される。

答 納税者の状況を精査

し、きめ細かく対応した  
い。

交通安全対策を

求めました

・今成医院北側交差点。

・伊奈中央線NTTまで  
の工事終了後は。

・埼玉りそな銀行からい  
な穂街道まで。



今成医院付近の交差点

六道駐在所を交番に！  
リースによるLEDの導入を！



うえの たかよし  
上野克也 議員

問 「安心安全な町づく

り」には警察官の常駐す  
る交番が、重要政策では  
ないか。

答 北部地域は人口急増  
で、現在の駐在所機能で

は対応できない。上尾警

察や埼玉県警察本部に交  
番設置を再三要望。早期  
の交番設置を目指す。

問 各自治体が積極的に

LED照明の導入を進め

ている。伊奈町も防犯

灯・街路灯や役場庁舎へ  
の導入を推進すべきだ。

答 今後リース方式の導

入を費用対効果等を研究  
し前向きに検討していく。

問 夏の暑さ対策で小中

学校や役場庁舎へのミス  
トシャワーの導入について

答 費用対効果を考慮し  
研究していく。

問 防災・防犯情報のテ

レビ局のデータ放送を

活用した配信について。

答 メールの手々な方や

高齢者の方への緊急情報  
伝達方法として導入に向  
け検討していく。

問 ニューシャトル駅の

エレベーター設置状況は

答 丸山駅は平成25年1  
月末に工事完了。その後

年度内に供用開始予定。  
羽貫駅は、平成26年度ま

でに設置できるよう取り  
組んでいる。



六道駐在所

子どものための弾力的な学区制度を



おおさわ じゅん  
大沢 淳 議員

問 通学区域が指定されているが、変更も可能。いじめ、不登校の解消が目的の場合もある。

伊奈町成長戦略

答 人口や生産力をもとに成長力指数を算定。伊奈町は第2位。

問 企業立地と雇用創出は。

答 オーダーメイド方式による技術開発系先端企



大規模化し教室が改修された小針北小学校

業の誘致を目指したい。子ども子育て新法の影響。問 待機児童解消に資するのか。

答 すべて解消できるか難しいところもある。問 放課後児童育成事業への影響は。

答 児童クラブの対象児童がおおむね10歳未満から「小学校に就学している児童」と改められた。

学校選択制の弊害と通学区の弾力的運用

問 選択区域における実際の通学状況は。

答 小針北、小針小のうち小針小を選択したのは、224名中4名。

問 国が主導した学校選択制の弊害は。

答 特定の学校に児童が集中し、学校間差が広がり、地域と保護者の連帯感が希薄化してしまう。

観光資源・忠次公をブランド化し六次産業化へ



うえの なおのり  
上野尚徳 議員

問 町長の政策に「伊奈町ブランドの研究、開発及び周知について研究」「忠次公を観光資源とした商業振興策を研究」とあるが、二つの政策を連動させ、忠次公をイメー

答 ジキヤラクターとした商品販売し、伊奈町産の農産物を使用。町としての第六次産業化を押し進めてはどうか。

問 伊奈町産の米を使った純米酒「伊奈備前守忠



伊奈の酒「伊奈備前守忠次」

次」を商品化。12月25日から販売。農業をベースに観光交流まで組み合わせた六次産業の手法を取り入れる。伊奈町の収益向上とイメージアップにつなげたい。

問 友好協定の進捗状況は。又、今後の方向性は。

答 つくばみらい市と友好都市提携の協定を締結する事が決定。災害時の応援協定も調整を行っている。山形県鮭川村とも締結に向けて準備中。その他の自治体とも今後話を進めていく。

問 低炭素社会・環境保全意識向上の為、電気自動車を購入し率先垂範してみても。又、急速充電器を設置し、町民に利用して頂いてはどうか。

答 理想的なエコカーと言われる電気自動車。電気自動車普及の動機付けや環境意識の向上の為、前向きに検討したい。

高齢者・障害者の新交通システムを



さとつこういち  
佐藤弘一 議員

問 高齢者・障害者の新たなデマンド方式ワゴン車の導入をすべきと思っております。北本市でも導入を始めています。自宅から公共施設、金融機関、病院、商業施設など、バス停ま

答 シャトルの各駅や、バス停留所までの移動が困難な、高齢者や体の不

で行かなくても良い新しい交通システムである。早めに導入すべきと思うが。



北本市で運行しているデマンドワゴン車

自由な方には、デマンド方式は有効であると考えている。導入についての課題を洗い出し、「いなる」との調整を図りながら、解消に努めていく。

問 指名入札の町内・町外の発注割合はどの位か。

答 23年度契約案件が59件で、町内では41件で全体の69・5%である。

問 上尾市では、市長自ら市益を考え、地元発注に100%近く市内業者に入札・発注をしている。伊奈町としても、上尾市同様にするべきと思うが。

答 公共事業を町内業者が請け負うことは、雇用の創出や経済の活性化が期待され、税収にもつながる為、可能な限り受注機会の拡大が図られるよう検討していく。

通学路の安全対策



むらやままさひろ  
村山正弘 議員

問 通学路緊急対策で抽出された小学校ごとの危険箇所は何件か。

答 小室小6件・小針北小5件・南小1件の12件である。

問 内容はどのようなものか、また安全対策の進捗はどうか。

答 危険箇所としての内容は、側溝の蓋の欠如・防護柵の未設置・路面不良・視界の見通しの悪い交差点で、6カ所について

のが、また安全対策の進捗はどうか。



町立図書館

では解消した。いな穂街道に係るものは平成25〜28年の道路整備による。

クールシェアの取り組み

問 涼しい夏の共有と、町民のコミュニケーションに、クールシェアを前向きに取り組むべきだ。

答 新たな節電の取り組みとして、またコミュニケーションの形成に有効と考える。

公共施設、商店街などを含めてクールシェアの展開を研究していく。

問 夏休みの図書館利用者増はクールシェア感覚が利用者にある。

答 図書館の駐輪場整備・小中学校の図書室の空調整備をして、夏休み中の児童生徒の受入は可能では。

答 学校図書室は夏休み中は司書業務で受入れは不可能。